

平成 29 年 12 月 8 日

各位

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社

本業プロジェクトを対象に本邦事業会社が初めて募集するグリーンボンド **「戸田建設グリーンボンド」の引受けについて**

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 長岡 孝、以下当社）は、このたび、戸田建設株式会社（以下、戸田建設）が発行するグリーンボンド^①「戸田建設グリーンボンド」（5 年債 100 億円）の引受けにおいて単独主幹事を務め、本日、同グリーンボンドが条件決定されましたのでお知らせします。同グリーンボンドは本業プロジェクトを対象に事業会社として初めて発行されるものとなります。

戸田建設は、1994 年に地球環境憲章を制定し、環境リスク低減に向けた活動と、より良い環境の創造に向けた活動に取組まれ、「すべての事業活動を通じて、環境保全活動を展開する」を環境方針に掲げています。

また、同社は「中期経営計画 2019」において持続的成長への取組みとして世界でも事例の少ない先進的な浮体式洋上風力発電への取組みを掲げており、本件調達資金の全額が浮体式洋上風力発電の建設のための設備投資資金に充当される予定です。加えて、グリーンボンド発行を通じて、国内グリーンボンド市場の発展に貢献することも企図しています。

なお、グリーンボンドとしての適格性について ESG 評価会社である Sustainalytics 社より取得したオピニオンでは、日本の持続可能開発という課題を背景として、戸田建設の浮体式洋上風力発電プロジェクトが国家的な重要目標と低カーボン経済への移行に貢献すると評価されています。

当社は、金融機関として果たすべき社会的使命を自覚し、持続可能な社会の実現に貢献するための取組みを積極的に推進しており、環境分野においてもグリーンボンドの引受けをはじめ、炭素クレジットやクリーンエネルギービジネスにおけるコンサルティングサービスの提供、社内の省エネ・省資源施策等を実施しています。

2006 年に国連責任投資原則 (PRI: Principles for Responsible Investment) が制定されて以来、世界の ESG 投資^②が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド等の発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境

との両立の観点から、ESG をテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(戸田建設グリーンボンドの概要)

債券名： 戸田建設グリーンボンド (5年)

取得格付： BBB+ (R&I)

年限： 5年 (2022年12月14日償還)

発行額： 100億円

利率： 0.270%/年

発行日： 2017年12月14日

主幹事： 三菱UFJモルガン・スタンレー証券 (単独)

- (1) 環境事業に要する資金を調達するために発行する債券。戸田建設グリーンボンドは、国際資本市場協会 (International Capital Market Association : ICMA) が定義する「グリーンボンド」の特性に従った債券である旨、第三者機関による評価を取得している (第三者機関 : Sustainalytics)。また、株式会社格付投資情報センターから R&I グリーンボンドアセスメントの最上位評価である「GA1」を取得している。
- (2) ESG は、環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の英語の頭文字を合わせた言葉であり、ESG 投資はこれらの要素に配慮している企業を重視・選別して行う投資のこと。

以上